学校番号	３０１３

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	明解　世界史Ａ　（帝国書院）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社） 世界史Ａ読本（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	課題レポート 授業態度 ノート提出	定期考査 発問評価 ノート提出	定期考査 発問評価 ノート提出	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	学習項目	評価の観点				評価基準	評価方法
		a	b	c	d		
4	導入 19世紀後半の世界	○		○	○	19世紀後半のころの主要な国々と成り立ち、位置を理解する a今ある国の歴史的特長の言葉に興味を持てる c各国に位置が世界地図上で指摘できる d各国の政治・経済的特徴,各国の宗教・民族的特長を理解している	acdについて 発問評価 授業態度 レポート
4	大衆社会 帝国主義の時代	○	○		○	帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。 a欧米列強では軍事力の強化がはかられる一方で労働運動が高まりを見せるなど，国内の緊張が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 b19世紀後半から欧米で進展した第２次産業革命と，各国の帝国主義の動きを関連付けて考察し，文章にまとめる。 d帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列国の国内問題に関する基本的な知識を身につけている。	abdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
5	世界分割 列強対立	○	○	○	○	帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と，従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。 a欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果，列強の二極分化が進み，第一次世界大戦に繋がる危機が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 b経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が，世界各地の社会の変容に与えた影響について考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されているアフリカ植民地化の地図や，アメリカの対外進出の関連地図，同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d欧米列強のアジア，アフリカ，太平洋地域，ラテンアメリカにおける植民地獲得や勢力圏拡大の競争に関する基本的な知識を身につけている。 列強の二極分化の過程とバルカン半島をめぐる危機の高まりに関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・発問評価 ・授業態度 ・ノート提出
6	アジア諸国の改革と民族運動	○	○	○	○	欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。 a帝国主義列強の侵略にさらされたアジア諸国における民族運動の形成と，このような世界情勢の中で日本が列強としてアジアへの勢力拡張に加わったことを，関心を持って学習しようとしている。 b帝国主義列強の植民地支配を受けたアジア諸地域で民族意識が覚醒し，解放・独立をめざすナショナリズムの運動が展開されていったことを，現在の国際状況や問題と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されている，東アジアにおける列強の勢力圏を示す地図や図版を活用し，現在に残る影響を把握しようとしている。 d中国分割の危機と辛亥革命，インド，東南アジア，西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。 ・日露戦争や韓国併合にみられる近代日本の台頭に関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
7	．第一次世界大戦 ロシア革命 大戦後の世界	○	○	○	○	第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし，20世紀の変動の機転となったことを理解する。 a第一次世界大戦勃発の経緯，戦時外交と総力戦の性格について，関心を持って学習しようとしている。 ソ連邦成立に至るロシア革命の進展を，関心を持って学習しようとしている。 b第一次世界大戦の原因や性格について，これまでの戦争との違いを多角的に考察し，文章にまとめる。 ・社会主義国家の誕生という，ロシア革命の世界史的な意義と影響について，多角的に考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されているバルカン諸国や第一次世界大戦の戦場となった地域をあらわす地図，新兵器などの図版を適切に活用している。 d第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格，経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。 ロシア革命の展開とソ連邦の成立過程に関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度

９	**ヴェルサイユ体制下の欧米諸国**	○	○	○	○	国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。 a戦間期の国際協調と平和への取り組みが実を結ばなかった理由について，関心を持って学習しようとしている。 bヴェルサイユ・ワシントン両体制のもたらした緊張関係や矛盾を多角的に考察し，表などにまとめる。 c教科書に掲載されている大戦後のヨーロッパや東ヨーロッパ・バルカンの言語分布地図，ドーズ案後の資本の国際的循環を示す諸資料，図版・写真などを適切に活用している。 dヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点と，アメリカの繁栄，ソ連邦の社会主義建設といった欧米諸国の動向に関して，基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
１０	**民族自決** **アジア・アフリカ地域の民族運動**	○	○	○	○	中国や東南アジア諸国，インド，トルコや西アジア諸国，アフリカの民族運動の展開を理解する。 aアジア諸民族の民族運動が大衆的な基盤を持ち，世界史の新しい潮流をつくり出したことについて，関心を持って学習しようとしている。 b日本と中国，イギリスとインドやイスラーム諸国といった，干渉国と民族運動の高揚の関係を多角的に考察し，表などにまとめる。 c教科書に掲載されている1920～30年代の中国，第一次世界大戦後の西アジアの地図，図版・写真などを適切に活用している。 d中国における民族運動の高揚，ガンディーを中心としたインドの民族運動，ムスタファ＝ケマルによるトルコ革命など，アジア諸地域で展開された大衆的な基盤を持つ民族運動に関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
１０	**世界恐慌とその影響** **ファシズム諸国の侵略**	○	○	○	○	世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から，国際的な緊張が高まる時代を理解する。 aイタリア，ドイツ，日本のファシズムの特徴と勢力拡張の過程について，関心を持って学習しようとしている。 bファシズムという運動を20世紀における大衆社会の出現と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されているブロック経済の結成地図，「ゲルニカ」をはじめとする多くの写真資料などを適切に活用している。 d世界恐慌の影響と欧米諸国の対応，ファシズム諸国の攻勢やソ連邦の動向に関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
１１	**第二次世界大戦**	○	○	○	○	第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大，米ソの国際的地位の高まりを理解する。 a第二次世界大戦の開戦に至る経過，戦争の拡大と戦場の広域化，核兵器などの大量破壊兵器の被害などを，関心を持って学習しようとしている。 b第二次世界大戦の持っていた複合的で複雑な性格を戦後の国際社会の方向性と関連付けて考察し，文章にまとめる c教科書に掲載されているヨーロッパ戦線や太平洋戦争の地図，第二次世界大戦の国際関係図，図版・写真などを適切に活用している。 d第二次世界大戦におけるヨーロッパから太平洋に至る戦場の広域化，強制収容所の建設や核兵器の使用といった残虐行為など，戦争の惨禍に関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
１２	**冷戦のはじまり** **戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立**	○	○	○	○	第二次世界大戦後，米ソを中心とした冷戦体制が成立し，東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 中華人民共和国の成立やアジア諸地域の独立の過程を理解する。 a米ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について，関心を持って学習しようとしている。 アジア諸地域の独立と建国時の困難さ関して，関心を持って学習しようとしている。 b親ソ政権樹立による東欧諸国の社会主義化とアメリカ合衆国の経済援助や「対ソ封じ込め」政策を比較しながら考察し，文章にまとめる。 ・アジア諸地域で推進された民族運動と干渉国の関係を多角的に考察し，追究している。 c教科書に掲載されているドイツとベルリンの分割図，冷戦時代の諸同盟図，第二次世界大戦後のアジア諸地域の独立を示す地図や図版を適切に活用している。 d国際連合を柱とした戦後の世界秩序の形成，ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立，アジア諸地域の独立に関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度

1	**米ソ冷戦の激化 朝鮮戦争 西欧・日本の経済復興**	○	○	○	○	朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から，日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって，国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。 a朝鮮戦争後，核兵器開発競争や平和共存政策といった国際的な緊張・融和がくり返されたことについて，関心を持って学習しようとしている。 b西欧や日本の経済的な復興や高度成長を，戦後の国際政治に与えた影響と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されている朝鮮戦争の動向をあらわす地図や図版・写真を適切に活用している。 d朝鮮戦争後の「雪どけ」と平和共存への試みに関する基本的な知識を身につけている。 アメリカに続く西欧や日本の復興と経済成長に関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
1	**第三世界の台頭 米・ソの歩み寄り**	○	○	○	○	戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し，発言力を強めたことを理解する。 米・ソの両大国の動揺と国際的な影響力の減退を理解する。 a経済的自立の困難さや開発独裁体制の成立，中国の混乱など，第三世界諸国における危機について，関心を持って学習しようとしている。 aベトナム戦争やチェコスロヴァキア軍事介入など，米ソ両大国の動揺について，関心を持って学習しようとしている。 bアジア・アフリカ新興独立諸国による第三世界の台頭とキューバ危機以降の米・ソの政策を，冷戦の緩和と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されているアフリカ諸国の独立，中東戦争によるイスラエルの領土拡大をあらわす地図，諸地域の図版・写真を適切に活用している。 dアジア＝アフリカ会議や非同盟諸国会議などにみられる，第三世界の連帯の動きに関する基本的な知識を身につけている。 キューバ危機やベトナム戦争，中ソ対立やソ連の東欧諸国に対する介入，西ドイツの東方外交による緊張緩和の進展などに関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
2	**石油危機と世界経済の再編**	○	○	○	○	ドル＝ショック，オイル＝ショック以降の国際経済の再編，冷戦の終結への流れを理解する。 aオイル＝ショック以降の先進国の社会変容や途上国の工業化について，関心を持って学習しようとしている。 b冷戦の終結をゴルバチョフによるソ連の改革と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されている石油価格の変遷グラフ，チェルノブイリ原子力発電所の事故の写真などを適切に活用している。 dオイル＝ショックなど戦後政治の転換期の動向や冷戦終結への取り組みに関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
2	**現在の世界１． 社会主義世界の変容 グローバル化**	○	○	○	○	東欧社会主義圏の消滅とソ連邦の解体，1990 年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。 a 情報技術革命によって市場経済の世界化がより進展し，地球規模での相互依存が高まったことを学習しようとしている。 b 東欧社会主義圏の解体とソ連邦の分裂，消滅について，その歴史的意味を多角的に考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている独立国家共同体の地図，ヨーロッパ統合の歩みなどの諸資料や写真を適切に活用している。 d 東欧社会主義諸国の改革，ソ連邦の解体過程，ＥＵやＮＡＦＴＡなど先進経済地域の統合化の動きに関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度
2	**途上国の民主化 独裁政権の動揺**	○	○	○	○	途上国の民主化の進展と，アジア社会主義国家の変容を理解する。 a ラテンアメリカやアジアの途上国における強権支配の後退と民主化の進展について，関心を持って学習しようとしている。 b 中国・ベトナムで進む市場開放と工業化の進展を，その抱える矛盾と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている天安門事件の写真などを適切に活用している。 d ラテンアメリカやアジアの途上国で進展した民主化の過程と，アジア社会主義諸国の経済開放政策やその変容に関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度

2	**３．地域紛争の激化と深刻化する貧困**	○	○	○	○	世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争，紛争解決や軍縮の試みを理解する。 a新たな地域紛争の頻発，経済格差や深刻化する貧困問題など，現代の諸地域世界の情勢について関心を持って学習しようとしている。 b湾岸戦争とアフガニスタンやイラクに対する対テロ戦争における国際連合の行動の差異から，新たな国際秩序の在り方を考察し，文章にまとめる。・ c教科書に掲載されているアフリカの飢餓状況の資料や写真などを適切に活用している。 インターネットや新聞などから国際社会の課題に関する情報を収集し，活用している。 d東欧やロシア，中東からアジアにかけて多発する地域紛争，アフリカの民主化と貧困問題，対テロ戦争と紛争解決や軍縮の試みに関する基本的な知識を身につけている。	abcdについて ・定期考査 ・ノート提出 ・発問評価 ・授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。